

JCCA

Kyushu Branch, Japan Civil Engineering Consultants Association

九州支部
支部だより

Vol. 45 2020. 7

支部長のご挨拶……………1
支部組織図……………2
令和2年度事業運営方針……………3
令和元年度事業報告……………5

部会の活動……………10
総務・企画部会、特別部会……………10
対外活動部会……………15
技術部会……………17
夢アイデア部会……………18

令和2年度会員名簿……………20

撮影者：技術部会道路技術委員会「人吉市相良橋」



日頃より、一般社団法人建設コンサルタンツ協会並びに同九州支部の活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

現在、全世界を席捲している新型コロナウイルスの猛威により、助走期間のない形での生活様式や勤務スタイルの急変、精神的強制力をも内包した移動・外出自粛要請等により、皆様には厳しい日常生活並びに事業活動の日々と拝察いたします。

当九州支部は、九州・沖縄の 8 県全てに会員を有し、昨年度に新たに 2 社の入会を得てその総数は 155 社（5 月 1 日現在）を数える国内最大規模の支部として、創設 53 年目を迎えるまでに継続、成長してまいりました。これもひとえに、関係する皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

この組織力を背景に、会員相互並びに関係諸機関や地域の皆様と連携しながら、各社の得意分野を中心にして、九州・沖縄地域で暮らす 14 百万人を超える人々の安全・安心の確保と、その基盤である道路、鉄道、空港、港湾、河川、ダム、上下水道などの社会資本整備における企画、調査、設計、施工監理等の業務に事業者の技術的パートナーとして活動しています。

九州・沖縄では、ここ数年だけを見ても 2016 年の熊本地震や、毎年のように発生している豪雨災害等により、多数の人的被害に加えて公共土木施設にも甚大な損失が生じています。これらの連続的に発生する災害の影響により、未だ避難生活を余儀なくされておられる被災者の方々も多く、喪失・被災したインフラの復興、地域の再生に向けて会員各社はもとより、支部としても積極的な対応を継続しているところです。最前線で活動する会員社への後方支援に加えて個社の枠を超えた連携強化を行い、業界全体としての取組み成果を積上げていくことが従来に増して強く求められている時だと認識して、支部一丸となって活動しています。

また、支部活動は上記以外にも、ホームページに掲載しているとおり多岐にわたっています。大規模災害発生時に備えた国や自治体等との災害協定締結を始めとする危機管理事前活動はもとより、会員会社の技術水準や経営水準の向上を目指した研修等の諸施策をはじめ、支部の独自活動である「夢アイデア事業」を通じて、地域の皆様とともにそこに暮らす人々の笑顔あふれる社会の育成支援活動を行うなど、ハード・ソフト両面で広い意味の社会資本の形成に努めています。更には、改正労働基準法を踏まえた働き方改革の推進にも、全力をあげて取り組んでいるところです。

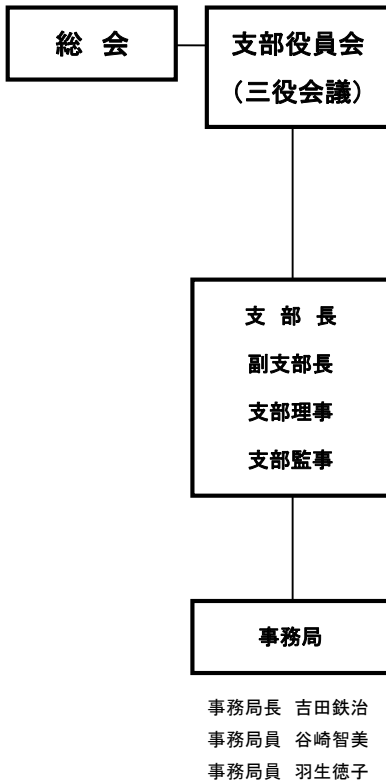
我が国の現状は、人口減少、少子高齢化、インフラの老朽化、多発する大規模災害、地政学上のリスクの増大等、取り巻く環境が大きく変化し、今までに経験したことのない領域に向かって急速に進んでいます。加えて、忽然と現れた新型コロナウイルスとの闘いは、長期にわたることが予想されています。ウィズ（with）コロナを意識した生活を我々に強いてくるでしょう。

建設コンサルタントは、過去と現在の客観的事実に基づいて、明日へ続く社会を構築する技術・技法の供給源です。日々研鑽に努め、発注者としての行政機関や地域の皆様の頼れるパートナーとして、国民に常に必要とされる公器となるべく活動することをその使命としています。地域の皆様を、社会インフラの整備・維持を通して、側面で支え続けてまいります。

引き続きまして、支部・会員各社に対するご理解と一層のご支援をお願いするとともに、お気づきの点に関しましてのご要望やご意見を賜れば幸甚でございます。

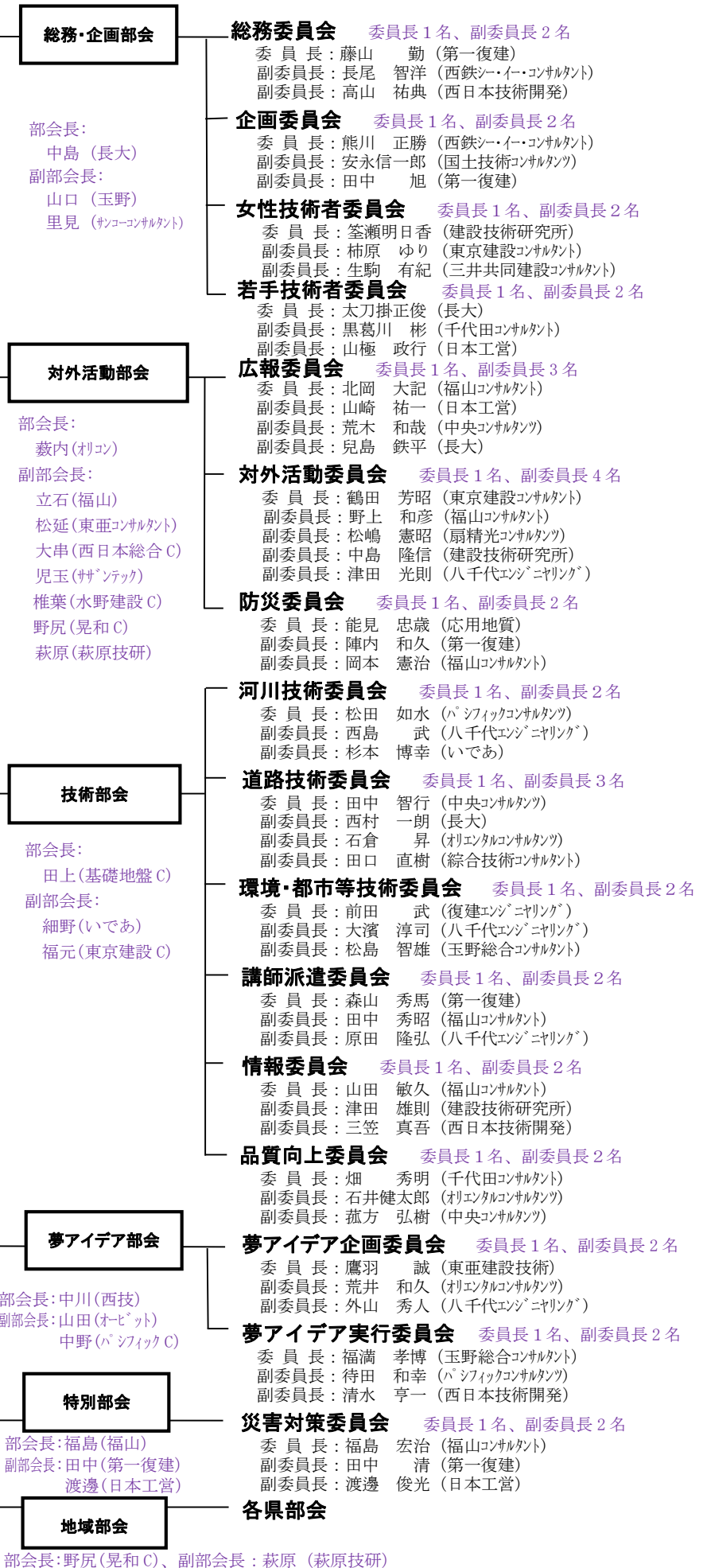
令和 2 年 5 月
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部
支部長

福島 宏浩



支部役員		
支部長	福島 宏治	福山コンサルタント
副支部長	田中 清	第一復建
副支部長	渡邊 俊光	日本工営
支部理事	細野 典明	いであ
支部理事	山田 益司	オベット
支部理事	藪内 一彦	オエンタルコンサルタンツ
支部理事	田上 裕	基礎地盤コンサルタンツ
支部理事	里見 武彦	サンコーコンサルタント
支部理事	山口 貴康	玉野総合コンサルタント
支部理事	中島 城二	長大
支部理事	中川 裕	西日本技術開発
支部理事	中野 卓朗	パシフィックコンサルタンツ
支部理事	立石 亮祐	福山コンサルタント
福岡(理事)	松延 岳志	東亜コンサルタント
佐賀(理事)	大串 正	西日本総合コンサルタント
大分(理事)	児玉 明裕	ササンテック
熊本(理事)	椎葉 晃吉	水野建設コンサルタント
宮崎(理事)	野尻 周男	晃和コンサルタント
鹿児島(理)	萩原功一郎	萩原技研
監事	上野 竜哉	新日本技術コンサルタント
監事	福元秀一郎	東京建設コンサルタント

令和2年7月1日現在



近年の地球温暖化に伴う異常気象等により、我が国では毎年のように自然災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。九州においても例外ではなく、2016年4月の熊本地震、2017年7月の九州北部豪雨、2018年7月の西日本豪雨、そして昨年2019年8月の九州北部豪雨などが記憶に新しいところです。九州地方整備局や自治体等の行政機関では、これらの災害から住民の安心・安全を確保してゆくために、さまざまな対応を行っております。また、建設コンサルタンツ協会九州支部は、災害対応を行う行政機関に対して速やかに協力できるように、災害協定を締結して支援を行っており、防災・減災対策の推進に向けて協力しています。

我々建設コンサルタントは、国民の安心・安全な暮らしを支える強靱で持続ある国土形成のために、社会資本の確実な整備と維持管理の計画的・持続的推進が重要であるという認識のもと、優れた品質の成果物を継続的に提供していくことが社会的使命であると考えています。

一方、我々を取りまく環境として、長年続いてきた公共事業の削減によって「建設コンサルタント企業の健全な発展」および「技術者の魅力向上と展望ある成長」が阻まれる状況にありました。しかし、ここ10年来の公共事業費の下げ止まり、8年連続での設計業務技術者単価の上昇、2014年の公共工品質確保促進法の制定など建設コンサルタントにとって明るい兆しが見えてきました。さらに昨年2019年には、この品質法の改正が行われました。今回の改正では、「災害時の緊急対応の強化」、「働き方改革の推進」、「生産性の向上」が新規に追加され、これまで“工事に準ずる”扱いとされてきた“調査等（測量、地質調査、点検・診断を含むその他調査、設計）業務”の品質の確保対応も明確化されました。我々は、改正品質法の基本理念である「適正な利潤を確保」しつつ、「担い手の中長期的な育成・確保」と「公共工品質確保」を実現するための具体的な方策を掲げて活動する必要があります。さらに、建設現場の生産性向上等を目指して平成28年1月に打ち出された「i-Construction」施策は、現場の測量から、設計、施工、維持管理に至る建設プロセス全体にICT技術を導入・活用する事により生産性向上を図るもので、建設コンサルタントにもその対応が求められています。

また、昨年2019年4月に改正された労働基準法に伴う“時間外労働の制限”は、今年2020年4月からは全協会員に関わるようになりました。さらに、2020年4月から施行された「改正民法」への対応として「公共土木設計業務等標準委託契約約款」が改正され、“契約不適合責任”が我々受注者に課せられるようになりました。これら新しい法令への遵守の徹底も我々の責務になります。

そのような状況の中、我々は発注者とのパートナーシップの維持向上と相互理解を図るとともに、会員企業共通の課題認識とその解消、さらに魅力ある職業としての確立等に向けて、①経営の安定と就業環境の改善、②技術力と品質の確保・向上および生産性の向上、③社会的な認知度の向上等に協会全体で取り組んでいきます。そして、法令を遵守し、会員であることによる便益向上を推進する活動を行ってまいります。

以上を踏まえ、建設コンサルタンツ協会九州支部の令和2年度事業は、以下の運営方針で進めてまいります。

- (1) 建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備
 - ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
 - ② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備

③ 若手・女性技術者がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

(2) 技術力と品質の確保・向上の促進

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進
- ② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組みの促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の維持管理事業への取組みの促進

(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

- ① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実（夢アイデア交流会、講師派遣等含む）

(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進
- ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等
- ③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記4項目による便益についての理解の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ 各県部会所属会員のためのサテライト講習会の拡充

[補足説明]

1) 事業運営の大きな柱として、(1)・(2)・(3)を立てる。(1)は建設コンサルタント事業の根幹に関わる方針、(2)は当該事業の立脚点である技術力と品質に関わる方針、(3)は当該事業の社会的位置と貢献に関わる方針である。

2) (4)は建設コンサルタント事業を営む上での絶対的条件である職業倫理と法令遵守に関わる方針である。

3) (5)は特に会員の便益向上の一層の促進に関わる方針である。

近年我が国の広範囲の地域において自然災害が多発しています。平成28年(2016)には熊本地震、鳥取県中部地震、29年(2017)には九州北部豪雨、30年(2018)には大阪府北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年(2019)には元年8月豪雨、台風19号水害などが発生し、とりわけ九州地域においては、毎年地震、豪雨、台風被害などが続いています。これらの全国規模の自然災害に対する国土強靱化や防災・減災対策の推進および被災地における復旧・復興等の社会的重要性は、従来にも増して強く認識されるものとなりました。

また、高度経済成長期に整備された社会資本の老朽化に対する適切な維持管理、長寿命化、更新等の必要性に対する社会的認識も一層高まっており、これらの社会資本に関わる喫緊の課題に対して、建設コンサルタントの果たすべき社会的役割はますます増大しています。

平成26年6月には改正品確法が施行され、「建設分野における担い手の中長期的な育成・確保の促進」を趣旨として、発注者責務である適正な利潤が確保できる予定価格の設定、計画的な発注、適切な工期設定等が明確に規定されるとともに、関係主体が取り組むべき事項等が明示されました。さらに、令和元年6月の品確法の一部改正により、建設コンサルタント業務も品確法の対象として明確化されました。このことによって、技術競争による選定、適切な工期の設定と納期の平準化などが改善され、ひいては建設コンサルタントの地位向上につながるものと期待されます。

一方、長時間労働の改善、女性活躍推進法を踏まえた女性技術者のための環境整備、ワークライフバランスの推進などが社会全般の課題としてクローズアップされ、建設コンサルタント業界においても「働き方改革」への取り組みが重要となっています。また、令和元年4月の改正労働基準法の施行に伴い、残業時間の上限規制を超えた場合には、法的に罰則を受けるのみならず、指名停止など極めて重いペナルティが課せられることから、正しく猶予のない取り組みが要請される状況となりました。

建設コンサルタント業界の企業経営面を概観すると、平成26年度以降、公共事業予算は安定的に推移し、また同期間における技術者単価は継続的に上げられるとともに調査・設計積算基準も改定されるなど、経営環境は概ね良好に推移しています。

以上のような情勢を踏まえると、建設コンサルタント業界が対処すべき根幹的課題は以下のように整理され、これらへの取り組みを一層強く推進していく必要があります。

- (1) 企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備
 - ・安定的な事業量の確保と技術者単価の継続的な引き上げ
 - ・実態に即した歩掛・積算体系への改善および整備
- (2) 働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取り組み強化
 - ・履行期限(納期)の平準化と標準履行期間の確保への取り組み
 - ・受発注者協働によるワークライフバランスの改善に係る施策の推進
 - ・BIM/CIMや3次元情報管理の推進・普及による生産性向上
- (3) 人材の確保・育成と新たな事業推進形態の環境整備
 - ・若手技術者・女性技術者の活用・育成のための入札・契約制度の工夫改善
 - ・建設コンサルタントが担う事業促進PPP、監理業務等の拡大と制度改善

このような課題認識に基づき、九州支部は本部との緊密な連携のもと、国土交通省九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県を含む管内8県および3政令指定都市と意見交換会等を開催し、これらを通じて種々の課題解決に向けた取り組みを行いました。とりわけ九州地方整備局とは実務者による業務円滑化調整会議を平成26年度より継続して開催しており、その協議を踏まえつつ新たな試行業務など適切な改善策の実施も進んでいます。

しかし、課題はなお多く、九州支部全体が一体となって、さらに一層の努力を進めていく必要があります。そのような観点から、令和元年度には次に示す運営方針を掲げ、会員各位のご尽力を頂きながら、様々な事業活動を展開して参りました。

【 令和元年度（2019年度）運営方針 】

（1）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善および職業基盤確立のための環境整備
- ③ 若手・女性技術者がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

（2）技術力と品質の確保・向上の促進

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策の実施
- ② 生産性向上等各種の施策や先進技術等の情報提供と取組みの促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の維持管理事業への取組みの促進

（3）広報活動の強化と社会貢献活動の推進

- ① 建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等の産学官一体となった広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実（夢アイデア交流会、講師派遣等含む）

（4）職業倫理の保持と法令遵守の徹底

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進
- ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・支援等
- ③ 労働法制改正への対応支援

（5）会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記4項目による便益についての理解の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ 各県部会所属会員のためのサテライト講習会の拡充

【補足説明】

- 1) 事業運営の大きな柱として、(1)・(2)・(3)を立てました。(1)は建設コンサルタント事業の根幹に関わる方針、(2)は当該事業の立脚点である技術力と品質に関わる方針、(3)は当該事業の社会的位置と貢献に関わる方針です。
- 2) (4)は建設コンサルタント事業を営む上での絶対的条件である職業倫理と法令遵守に関わる方針です。
- 3) (5)は特に会員の便益向上の一層の促進に関わる方針です。

具体の事業活動については、支部役員会での審議結果に基づき、総務・企画部会、対外活動部会、技術部会、夢アイデア部会、特別部会、地域部会の6部会とその下部組織である合計17の委員会が中心となり、会員会社や事務局の支援・協力のもと、自立的かつ積極的な活動を展開して参りました。

これらの活動に対する広範な支持と賛同も相まって、九州支部の会員数は、令和元年度末には155社（本社会社101社、支社会社54社）となりました。これは発足以来最大の規模であり、全国の支部の中でもトップクラスの陣容となっています。

活動内容の詳細は、各部会報告に示すとおりですが、運営方針に沿った全体の総括を、以下にご報告いたします。

（1）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起

既述のように、昨年度と同様、国土交通省九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局および各地方自治体と意見交換会等（国の機関とは本部・支部で、地方自治体とは支部単独で開催）を実施しました。九州地方整備局とは、支部単独による意見交換会および実務者レベルの業務円滑化調整会議も実施しました。また令和元年度より、NEXCO西日本九州支社との意見交換会および業務円滑化調整会議を開始しました。

各自治体との意見交換会では、支部会員会社へのアンケートによる発注者別のデータを充実させ、それぞれの特徴を考慮した「要望と提案」をとりまとめ、課題解決型の意見交換ができるように努めました。

九州支部作成の「要望と提案」については会員の声を反映した内容とするとともに、各要望項目の進捗状況を一覧表にするなど、目標の達成度合いを比較検証できるように整理しました。その結果、各発注者と充実した意見交換会ができるように改善されたことに加え、受注者側の認識する課題に対して発注者側の理解が一層進んで来たことと評価されます。

② 経営の安定化と就業環境の改善および職業基盤確立のための環境整備

上記の意見交換会においては、国の機関および各自治体の今後の発注見通しについて可能な限りの情報提供を求めるとともに、それを踏まえた経営の安定化に資する取組み、すなわち担い手の中長期的な育成・確保、および就業環境整備等の検討を進めました。

労働時間の削減とワークライフバランスの推進は、建設コンサルタント業界としても、受発注者双方で取り組むべき喫緊の課題です。発注者との意見交換会においても「必要な工期の確保と納期の平準化」、「ウイークリステンス」などを要望し、各発注者より前向きな回答を得ております。また「ノー残業デー」については、本部主催の全国一斉の取組みに呼応し、支部においても多くの会員会社が参加しています。

③ 若手・女性技術者がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

業務円滑化調整会議において、若手・女性技術者の活躍を促進するような業務発注のあり方を受発注者協働で検討を行い、具体的な試行業務の実施にまで施策を進めています。

支部においては、昨年度に引き続き「若手技術者交流会」を開催し、若手技術者による業務成果の発表と活発な意見交換を行いました。この交流会には、大学生の参加も働きかけており、毎年多数の将来の担い手候補の皆さんが参加しています。また、若手技術者委員会の活動広報の一環として、委員会ロゴの作成と Facebook の公開を行ないました。

さらに、女性技術者委員会の主催による「第3回女性技術者交流会」を開催するとともに、九州地方整備局と支部の若手・女性技術者委員会による「官民意見交換会」も実施しました。若手・女性技術者委員会では協働で「JOB CAFÉ」を開催し、今後の展望やあり方について意見交換を行うなど、活発に活動中です。

(2) 技術力と品質の確保・向上の促進

① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策の実施

会員会社の技術力向上の観点からは、河川、道路、環境・都市等の3技術分野、具体的には、河川、ダム、道路、橋梁、トンネル、環境、都市計画、地方創生等の多岐にわたる個別技術について、例年と同様に各種の技術講演会、現地見学会、技術セミナー、研究会、発注者との技術意見交換会等を実施しました。

品質向上の観点からは、“成果品の品質向上”を目指し、あらゆる分野について継続的な改善施策の検討を行い、効果的な情報提供と啓蒙活動を展開しました。エラー事例とその改善策を継続的に提供し、本部主催の「マネジメントセミナー」や「エラー防止セミナー」を支援し、地域会員のため「地域セミナー」を開催しました。また、令和元年度から地方の建コン会員会社向け技術講習会を佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県で開催しました。

② 生産性向上等各種の施策や先進技術等の情報提供と取組みの促進

本部の関係委員会と連携しながら、各種の政策や先進技術等の情報収集を行うとともに、講習会等を通じて会員会社へ情報提供を実施しています。具体的には、「GIS講習会」、「CIMハンズオン講習会」、「ICTセミナー」を開催し、地域会員向けにも「情報セミナー」を実施しています。

また、i-Constructionの推進への取組みの一環として、九州地方整備局の「産学官連携会議（ICT・標準化作業部会）」へ参画し、最新情報の収集と提供を進めています。

③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の維持管理事業への取組みの促進

上記の技術分野のうち、河川、ダム、道路、橋梁、トンネル等については、九州地方整備局の各担当部局と

の意見交換会、勉強会、研究会等を開催し、その中で受発注者協働による今後の維持管理事業のあり方等について検討を進めています。特に橋梁については、「道路橋メンテナンス講習会」の実施や、PC 建協・橋建協との合同研究会等による維持管理事業への取組みを進めています。

(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

① 建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等の産学官一体となった広報活動の強化

各種の産学官連携によるイベント等の機会を活用しながら、一般市民や学生等を対象に建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等について、広く情報発信を進めています。具体的には、「土木の日ファミリーフェスタ 2019」や「九州建設技術フォーラム」でのイベント広報や、「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム」の事務局として支援を進めています。

さらに、ホームページによる広報を継続するとともに、本部の広報戦略委員会と協働しながら、リクルートのための広報戦略強化を進めています。また、メディアへの対外広報として、業界紙各社に毎月1回定期的に取材可能情報を連絡するとともに、新聞社取材記事のHPへのアップロード等を適宜実施しています。

② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供

令和元年度は「近畿地方で大規模地震が発生（和歌山県南部 紀伊半島沖）」との想定のもと、本部と連携した協会全体の防災訓練を実施し、大規模災害発生時における会員会社への情報伝達および支援活動の即応性等の検証を行いました。各種団体との災害協定については、新たに西日本高速道路㈱九州支社および福岡北九州高速道路公社と締結しました。これにより、令和元年度末における災害協定締結団体は、九州地方整備局、沖縄総合事務局、熊本県、北九州市、熊本市と合わせて7団体となりました。

③ 各種社会貢献活動等の継続と充実

現在九州支部が取り組んでいる社会貢献活動は、夢アイデア事業と講師派遣を主要な柱としています。

夢アイデア事業については、提案された夢アイデアをいかに実現化に結び付けていくか、その具体的なアプローチを進めていくことが、何にもまして重要な社会貢献であると認識しています。そのため、さらに広範な一般市民の参画を促すとともに、夢アイデアを現実的な事業として推進していくことのできる有為な人材の育成に取り組んでいます。

夢アイデアの実現化に向けた取組みについては、平成27年にNPOとして登録済みの「ヤギヒツジECOプロジェクト」、宮崎県西米良村における「思い出NAVIプロジェクト」、福岡市唐人町商店街における「無礼講ストリート」、ファミリー向けイベントとして「食べられる公園ー子育て環境創出プロジェクト」等の各プロジェクトを実施しました。

「九州郷づくり共助ネットワーク研究会活動」は11年目を迎え、柴北川プロジェクトや雲仙プロジェクトを着実に進めるとともに、新しいプロジェクトの取組みも開始しました。

講師派遣については、国土交通省や地方自治体および関連団体等の開催する研修会等へ、依頼に基づき最適な人材を派遣し、当該職員への情報提供とその技術力向上の促進に取り組んでいます。令和元年度は、福岡県、宮崎県建設技術センター、鹿児島県建設技術センター、福岡市、九州地方整備局への講師派遣を実施しました。

(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底

① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進

「一般社団法人建設コンサルタント協会倫理綱領」および「建設コンサルタント技術者の倫理」を常に念頭に置いて業務遂行にあたるよう、役員会等を通じて会員会社への啓蒙に取り組んでいます。

② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・支援等

会員会社における法令遵守の徹底を図るため、建設関連業五団体共催による「令和元年度コンプライアンスに関する会員研修会」を開催しました。今年度は「建設業の課題への次の一手」および「職場におけるハラスメントの防止」をテーマとして選定しました。

③ 労働法制改正への対応支援

会員会社に対しては、10月に開催した働き方改革セミナーのなかで、年次有給休暇の取得義務化、残業時間の罰則付き上限規制等について説明しました。

また発注者に対しては、労働法制改正に伴う残業時間の規制が大企業においては既に実施されており、中小企業においても令和2年4月から実施されることを説明し、就労環境改善の受発注者協働での取組みを意見交換会の場で強く要望しました。

(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進

① 上記4項目による便益についての理解の促進

毎月開催の三役会議および役員会で種々の支部活動についての審議と方針決定を行い、これに基づき各部会および傘下の委員会活動を実施しています。その中で、常に上記4項目についての便益を、会員会社があまねく享受できるように留意するとともに、活動時期の平準化や委員会相互の情報交流の促進について検討を行い、「会員であることによる便益と満足度の向上」に努めています。特に、地域の会員会社のご意見等については、本部地域コンサルタント委員会および地域部会を通じて、より一層きめ細かく支部活動へ反映させる取組みを進めています。

また、各部会および委員会活動における経費縮減方針の徹底を進め、効率性の高い支部運営の実践に取り組んでいます。この他、会員会社相互の親睦と福利厚生のために、軟式野球大会(令和元年度は雨天により中止)およびソフトボール大会を開催しました。

② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供

平成29年度に引き続き本部主催の「契約のあり方講習会」(講師は大森文彦弁護士)を開催するとともに、令和元年度は支部主催の「働き方改革セミナー」を開催しました。管理部門の職員のみならず、業務実施現場の技術管理者に必須の極めて実利的な講習内容であり、今年は支部女性技術者委員会からの話題提供も行いました。

また、本部主催の「経営分析説明会」をほぼ隔年で開催しており、企業経営に関わる重要な現状分析と知見の提供を行っています。さらに本部主管のRCCM資格試験の支援も毎年継続的に実施しています。

③ 各県部会所属会員のためのサテライト講習会の拡充

平成28年度から、福岡市で開催する各種講習会を各県部会の会員の方々が受講できるように、サテライト受講システムを導入しました。これも、上記①の「会員であることによる便益と満足度の向上」の取組みの一環です。令和元年度は、企画委員会(サテライトWG)と地域部会の協働により、九州全県の7会場を結んで、延べ12回の講習会やセミナーを開催しました。今後も必要に応じてさらに機能向上や拡充を進めていく予定です。

【総務・企画部会】

1. 令和2年度 定時総会（総務委員会）

令和2年度定時総会を開催し、下記のとおり報告ならびに決議した。新型コロナウイルス感染症対策のため、会員に書面で議案を提案し同意を得た。

議案		
(審議)	第一号議案	令和元年度事業報告（案）について
	第二号議案	令和元年度決算（案）及 監査報告について
	第三号議案	役員の改選（案）について
(報告)	第一号議案	令和2年度事業計画について
	第二号議案	令和2年度予算について

2. 令和2年度第1回委員長交流会（企画委員会）

- イベント名 令和2年度 第1回 委員長交流会
 開催日 令和2年7月28日（火）15:00～17:00
 場所 八重洲博多ビルホール A
 参加者 23名（総務企画部会長・副会長、地域部会長、各委員長、企画委員会）
 内容 1.令和元年度第2回委員長交流会議事録
 2.令和2年度事業運営方針
 3.令和2年度予算計画
 4.令和2年度事業計画（各委員長 事業計画の確認）
 5.その他事項
 ・WEB を利用したこれからの講習会等の実施方法について

【特別部会】

1. 九州地方整備局との災害協定に基づきテックフォースに同行

- 内容 九州地方整備局との災害協定に基づきテックフォース同行のため技術者を派遣
 日時 令和2年7月5日（日）～
 場所 熊本県人吉市橋梁流失現場



若手技術者委員会主催の「JOB CAFE」に、女性技術者委員4名も助っ人参戦！！

令和元年11月16日(土)に開催された、建コン協会九州支部・若手技術者委員会主催の「JOB CAFE」では、建設コンサルタントの担い手現役23名と未来の担い手(学生) 23名がタイアップ！

仕事内容、仕事を通じて得られるやりがい、働き方、お給料etc...建コンの魅力を発信してまいりました！
「是非！土木の世界へ参られよ！」

～JOB CAFE背景～

学生が職業選択を行うに当たり、「建設コンサルタント」の職業を知る機会に限られています。「建設コンサルタント」で働く社員の生の声を聞くことは、学生の職業選択時に大きな影響を及ぼす要素であり、学生にとって得難い経験であると考えられます。

逆に建設コンサルタントに従事する技術者にとって、自らが職業選択をした時の初心を振り返ることやコンサルタント業務に対するやりがいについて考えることは、業務に対するモチベーションに繋がるが、それらについて考える機会に限られています。

そこで、「JOB CAFE」は下記を目的に開催しています。

- ・就職活動を控えた学生と、数年前に今の就活スタイルに近い就職活動を経験した若手技術者が自由に話すことで、学生が有益な情報を得られる場を創出する。
- ・「JOB CAFE」を通して、建設コンサルタント技術者が初心とやりがいを振り返ることで、開催後の業務に対するモチベーションの向上に繋げる。
- ・総務・企画部会の「若手技術者委員会」が中心に企画・運営を行い、その姿を学生に伝えることで、学生の業界に対するポジティブなイメージを醸成する。



JOB CAFE
ジョブ カフェ

2019年11月16日(土)
15:00~17:30

ケンコンを知りたい学生のための1日限りのカフェ
福岡天神にて**OPEN!!**

そんなあなたのお悩みに
建コンの若手社員が
お答えします!!

休みは
とれるの?

給料って
高いの?

将来は地元で
働きたいけど
希望ってできる?

アンケートより・・・

- ・普段聞くことができない話を**直接聞けた**(学生)
- ・コンサルの方と**フランクに話す**ことができた(学生)
- ・自分の**興味のある分野**の話を重点的に聞けた(学生)
- ・別に**興味が出た分野**があり、その話も聞けた(学生)
- ・**女性社員から**たくさんのお話を聞くことができた(学生)
- ・業務のことだけで**給与や生活面**について聞くことができた(学生)
- ・学生との話を通じて、自分がやってきたこと、**今後やりたいことを考える良い機会**となった(建コン技術者)
- ・キラキラした学生さん達と話して**頑張ろうと思えた**(建コン技術者)
- ・いろいろな仕事に**チャレンジしたい**と思った(建コン技術者)
- ・人材不足が加速している中で**よい取り組み**と思った(建コン技術者)

みなさんが働きやすく明るい業界を目指し、女性技術者委員会のできることを頑張ります！

→Next Coming Engineer

次世代の社会資本整備を担う技術者による意見交換会を実施しました！

令和元年11月20日(水) 九州地方整備局の若手技術者及び九州女性技術者の会と、当委員会及び若手技術者委員会の代表者が集まり、官民がお互いに働き方改革に関する取組等について情報共有を行いました。今回のテーマは「若手・女性技術者の活躍について」でした。

～背景～

平成31年4月の改正労働基準法の施行を踏まえて、官民ともに働き方改革に取り組んでいる中、人材の確保・育成は喫緊の課題です。また、将来の国土の発展、持続可能な社会を実現していくには、将来を担う人材にとって魅力ある業界づくりが重要です。官民意見交換会は、働き方改革に関する取組み等について情報交換を行い、課題の共有、課題解決に取り組む、官民一体となった魅力ある業界づくりに繋げていくことを目的としています。



【参加者からの意見】

Q1. 活躍していると感じるのはどんなとき？

- A1. ・業務がうまくいったとき。
・外部などに注目されるプロジェクトに関わっているとき。
・プロジェクトが成功して地元の人に感謝されたとき。

Q2. 働き方についてどんな課題がありますか？

- A2. ・人が減っているのに仕事量が減らない。以前より増えているような気がする。
・まだまだ学生からの質問は「残業はどのくらいか」「仕事はきついか」などが多く、忙しいイメージは払しょくできていない。
・技術力アップと労働時間のトレードオフ解消。

Q3. WLBの考え方については？

- A3. ・家庭を持つと「仕事はやりたいが早く帰りたい」と考えるようになった。
・男性の育児休暇は取得できる環境にないことが多い。
・男性、上司が休める組織は雰囲気が良い。
・チームで業務の状況を把握しマネジメントすることで、休みやすい体制づくりを行える。

制度は充実してきています。今の30代が率先して働き方を変えていくことで、将来上司になったときに業界全体が変わるかもしれません。

お知らせ

ホームページ・FBを随時更新しております。ぜひご覧ください！！

本誌は、(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 総務・企画部会 女性技術者委員会が発行しています。
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 九州支部
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目13-9 (いちご博多駅東ビル8階)
TEL 092-434-4340 FAX 092-434-4342 Facebookページ：女性技術者委員会(建コン協九州支部) @kirapro.kyu
ホームページ：https://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/female_engineer/index.html





【緊急企画】新型コロナウイルス感染拡大!!委員各社の対策・対応は!?

新型コロナウイルスの感染が世界で急速に拡大している事態を受けて、4月7日に全国7都府県で「緊急事態宣言」が発令されましたね。その上で、人との接触を8割減らすことが求められていますが、建コン各社もその対応に追われています。そこで、本委員会の委員(15社)を対象に「新型コロナウイルスへの対応」について、緊急アンケート調査を行いました。

いち早く在宅勤務に切り替えることが出来た会社もいざ在宅勤務をしてみても感じたことや、設備導入面で在宅勤務を導入したくても出来ないなど課題が浮き彫りになり、改善の余地があります!

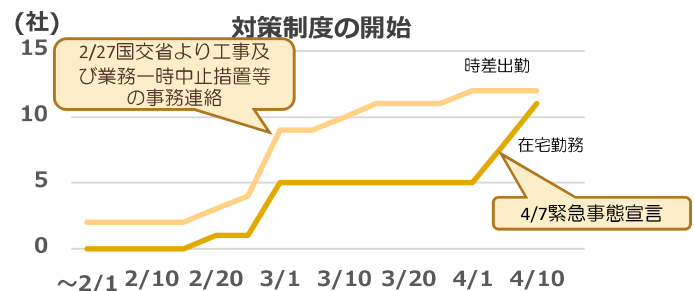
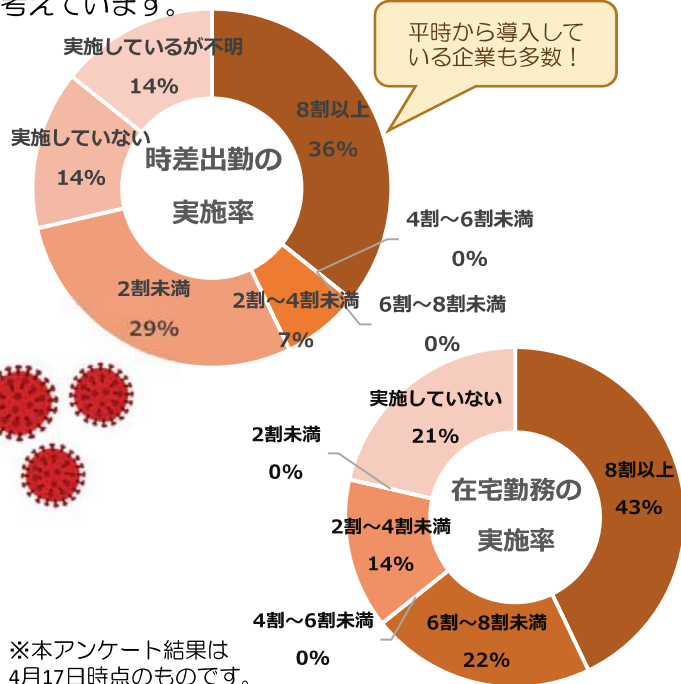
今回見えてきた課題を洗い出して、女性技術者委員会として建コンの働き方の見直し、提言を行っていきたくて考えています。

■会社での感染防止のための取り組みは何してる?

No.1 時差出勤: 14社中12社が実施中

No.2 在宅勤務(テレワーク): 14社中11社が実施中
~その他の取り組み事例~

- ・入社式や新入社員研修などの社内行事の中止
- ・執務室の人員配置を分散させる
- ・社員の健康状態確認(検温と体調を毎日報告)
- ・小中学校等の臨時休校による特別有給休暇の付与
- ・在宅勤務が出来ない社員に休業補償
- ・発注者との打合せをWEB会議で対応



【在宅勤務の課題① 設備面】

- ・全従業員へのハード、ソフト、モバイル環境が整っていない
 - ・自宅にネット環境がない人は会社支給のiphoneでテザリングを利用しているが、WEB会議の利用により契約通信量の上限にすぐに達してしまった
 - ・社内サーバへのアクセスができないため、業務データの共有が困難
 - ・リモート操作は社内サーバへのアクセス速度がとっても遅い!
 - ・WEB会議で、各自宅のネット環境に差があるため会話が途切れたり、聞きづらいことが多々ある
 - ・ノートパソコンの画面が小さく見づらい。メールの受信や誤字に気づきづらい
 - ・図面や資料を紙出力できない
- 報告書の製本のためやむを得ず出社することも。

実際に在宅勤務をしてみると課題が浮き彫りに・・・

【設備整備の対処方法】

- ・個人所有のPCの使用許可や、ノートPCを随時提供した
- ・自宅にネット環境がない人はモバイルWi-Fiを貸し出している
- ・テザリング機能の使用と通信量オプションを追加した
- ・デスクトップPCやディスプレイの持ち出しを許可している
- ・ノートパソコンにディスプレイをつなげて作業をしている
- ・在宅勤務の実施に最低限必要な備品の購入費を会社が負担
- ・リモート接続の利用スケジュールを作成(部署ごとに利用時間の制限を設けている)
- ・作業環境の整備を最優先するため、事務処理を簡素化した
- ・社内サーバの回線強化を準備している



【在宅勤務の課題② 業務体制】

- ・上司、同僚とのコミュニケーションが取り辛い、ちょっとした相談やお願いができない
- ・上司の承認、捺印が必要な書類の手続きができない
- ・勤務時間は自己申告となるため、勤怠状況が見えない
- ・会社宛の電話対応のため、出社が必要な場合がある
- ・発注者との連絡に個人所有の携帯電話を使用している
- ・新入社員も在宅勤務のためサポートが難しい

これを機に各種制度を
平時から導入していきたい



【業務体制の対処方法】

- ・Teamsやskype、google meetsといったweb会議やチャットの活用を推進している
- ・上司の承認はメールでOKとなった
- ・サポーターだけでなく、部署全体で新入社員をサポートするよう人事部からの通達があった。新入社員にもskypeで会議に参加してもらい会社に慣れてもらう工夫をしている

【在宅勤務の課題③ 社会・家庭環境 など】

- ・在宅勤務中であることを言うと保育園から家庭保育を打診された
- ・休校中の子供と一緒に環境での仕事はなかなか捗らない
- ・自宅に集中して作業できる環境が無い、
- ・作業用の机と椅子がないため、肩こりや腰痛などからくる体調不良が心配になる

在宅勤務用に
机と椅子を購入♪



【社会・家庭環境の対処方法】

- ・保育園へは子供を数日おきに預けるなどして、少しでも負担が減るように工夫している
- ・机と椅子を購入しました！作業効率が格段に上がっています
- ・ずっと家にいるのも苦痛なので、カーテンを買い替えたり、お花を生けるようになりました

★建コン・会社への要望★

- ・緊急事態宣言が発令されているなかで、会社ごとに業務の対応方針がまちまちであると感じる一定基準のラインを建コンとして決めてほしい
- ・建コンから業務の遂行方針（打ち合わせの実施など）を発注者へ呼びかけたり、企業へ対策の提示をして貰えると中小企業は動きやすい
- ・特別休暇措置は、休校に伴い子供の世話が必要な人と対象が限定されているため、同じような状況になると想定される介護分野でも認めてほしい

今後も各社の対応を追い、建コンとしての働きかけを模索していきます！

◆2020年度 女性技術者委員会のメンバー紹介

本年度は新メンバー2名を含む、15名で活動します。
どうぞよろしくお願いいたします。

【委員会メンバー】 ◎委員長 ○副委員長

◎釜瀬明日香（(株)建設技術研究所）

○柿原ゆり（(株)東京建設コンサルタント）

大重岬（(株)総合技術コンサルタント）

大津明日香（西日本技術開発(株)）

加藤利恵子（大日本コンサルタント(株)）

福島優美（応用地質(株)）

原菜花（八千代エンジニアリング(株)）

星野笑美子（基礎地盤コンサルタンツ(株)）

○生駒有紀（三井共同建設コンサルタント(株)）

濱田千友美（(株)大進）

平山歩（パンフィックコンサルタンツ(株)）

佐藤美和（日本工営(株)）

牧佑奈（九州建設コンサルタント(株)）

片山花（第一復建(株)）

木山舞花（日本地研(株)）

◆お知らせ

ホームページ・FBを随時更新しております。ぜひご覧ください！！



本誌は、(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部 総務・企画部会 女性技術者委員会
が発行しています。

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 九州支部

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東1丁目13-9（いちご博多駅東ビル8階）

TEL 092-434-4340 FAX 092-434-4342

Facebookページ：女性技術者委員会（建コン協九州支部）@kirapro.kyu

ホームページ https://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/female_engineer/index.html

【対外活動部会】

1. 自治体との意見交換会総括会見（対外活動委員会）

イベント名：自治体との意見交換会総括会見

開催日：令和2年2月7日（金）

場所：建コン九州支部会議室

参加者：建コン側 5名、新聞社5社

内容：九州地方整備局・地方自治体意見交換会、沖縄総合事務局意見交換会、九州地方整備局意見交換会・業務調整会議、NEXCO西日本九州支社意見交換会・業務調整会議、九州ブロック7県・3政令都市との意見交換会について、総括会見を行いました。

自治体名	開催日・場所	議事
九州地方整備局・地方自治体意見交換会	(令和元年8月5日) 八仙閣本店 5F	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協会本部からの「要望と提案」主旨説明 1.担い手確保・育成のための環境整備 2.技術力による選定 3.品質の確保・向上 ■ 意見交換 1.働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取り組み 2.受発注者協働による災害対応に向けた環境整備 3.人材確保・育成（若手技術者・女性技術者・シニア技術者の活用） 4.地方自治体における発注方式の改善（技術力による選定・発注の仕組みの導入） 5.前金払制度の適切な活用・改善
九州ブロック7県・3政令、市沖縄県意見交換会	熊本県(令和元年10月21日) 県庁本館11階 土木部会議室 沖縄県(令和元年11月1日) 沖縄バス本社ビル貸会議室 北九州市(令和元年11月7日) 北九州市役所3階 特別会議室 熊本市(令和元年11月11日) 桜の馬場城彩苑多目的交流室 長崎県(令和元年11月12日) 県庁3階 318会議室 大分県(令和元年11月13日) 県庁新館地下2FB21会議室 福岡県(令和元年11月14日)	<ul style="list-style-type: none"> 1.担い手の育成・確保のための環境整備 2.技術力による選定 3.品質の確保・向上 4.県（市、総合事務局）への個別要望

	<p>吉塚合同庁舎 801 会議室 福岡市(令和元年 12 月 3 日)</p> <p>天神ビル 9 号会議室 宮崎県(令和元年 12 月 17 日)</p> <p>県庁 7 号館 743 会議室 鹿児島県(令和元年 12 月 18 日)</p> <p>ウエルビュー-鹿児島 2F 潮騒 佐賀県(令和元年 12 月 19 日)</p> <p>佐賀県庁 11 階 11 号会議室</p>	
沖縄総合事務局 意見交換会	(令和元年 11 月 25 日) ホテルロイヤルオリオン 2 階旭の間	
九州地方整備局 意見交換会・業 務調整会議	(令和元年 12 月 25 日) 東福第二ビル 1F 第 3 会議室	<p>■ 円滑化調整会議の概要説明 業務円滑化調整会議の経緯</p> <p>■ 令和元年度の重点課題と検討方針</p> <p>■ 意見交換</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 履行期限の平準化 2. 労働環境の改善 3. 若手・女性技術者の活用促進の取り組み 4. 総合評価落札方式の新たな取り組み 5. 官民一体となった広報の取り組み 6. 事務部門の課題、自治体意見 交換会の結果
NEXCO 西日本 九州支社との意 見交換会	(令和元年 5 月 21 日) 西日本高速道路(株)九州支社会 議室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 円滑な業務遂行について 2. 積算（歩掛）、変更について 3. 入札制度について 4. その他

【技術部会】

1. 各自治体へ講師を派遣（講師派遣委員会）

各自治体から職員に対する研修の要望に応じて、会員会社の最適な講師を選任し派遣している。令和元年度は、以下の自治体に派遣した。

研修名	開催日・場所・講習内容
福岡県市町村職員研修	<ul style="list-style-type: none">■ 開催日：令和元年 7 月 9 日～10 月 2 3 日■ 場所：福岡県建設技術情報センター■ 講習内容：「構造物設計（排水構造物編、擁壁編）」、「橋梁計画（上部構造編）」、「橋梁点検（初任者実習）」、「道路計画（交差点設計編）」、「下水道」、「土質調査・解析（基礎および演習）」、「のり面設計（落石地すべり対策編）」、「河川計画」、■ 回数：1 5 回■ 派遣人数：1 1 名
鹿児島県建設技術センター研修	<ul style="list-style-type: none">■ 開催日：令和元年 9 月 1 3 日■ 場所：鹿児島県建設技術センター研修■ 講習内容：「建設技術者専門研修（橋梁維持管理課程）」■ 回数：1 回■ 派遣人数：1 名
福岡市役所技術研修	<ul style="list-style-type: none">■ 開催日：令和元年 9 月 2 4 日～1 0 月 1 0 日■ 場所：福岡市役所 15 F 講堂、職員研修センター■ 講習内容：「土質調査・地盤改良工法」、「仮設工」■ 回数：2 回■ 派遣人数：2 名
宮崎県建設技術センター研修	<ul style="list-style-type: none">■ 開催日：令和元年 9 月 2 7 日■ 場所：宮崎県建設技術センター■ 講習内容：「道路建設（スリルアップ）」■ 回数：1 回■ 派遣人数：1 名
建コン地域部会	<ul style="list-style-type: none">■ 開催日：令和元年 1 0 月 2 日～1 0 月 2 5 日■ 場所：佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県■ 講習内容：「道路設計」、「河川計画」■ 回数：4 回■ 派遣人数：4 名
九州地方整備局	<ul style="list-style-type: none">■ 開催日：令和 2 年 2 月 2 1 日■ 場所：有明海沿岸国道事務所■ 講習内容：「軟弱地盤」、「道路構造物」■ 回数：1 回■ 派遣人数：2 名

第18回 夢アイデア まちづくりに関する提案の募集

おんなりな話を、本気でしよう!

まちづくりの
夢アイデア
作品募集!

最優秀賞賞金 10万円・応募締切 9月30日

うちの街でやってみたいアイデアがある!

大好きなああの街がもっと元気になるってほしい!

住んでいる地域がもっと良くなってほしい!

テーマは何でも OK !

まちづくり、地域振興、観光、景観、環境、農業、子育てなど、テーマや対象地域は自由!

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 自然を活かした暮らしを大切にしよう | <input type="checkbox"/> 歴史・文化をもっと活かそう | <input type="checkbox"/> つどい、かたらい、絆を深めよう |
| <input type="checkbox"/> 子どもたちのために良い環境をつくろう | <input type="checkbox"/> アジアの玄関口にふさわしいまちにしよう | <input type="checkbox"/> 災害に備えよう |
| <input type="checkbox"/> 離島・半島での暮らしを守ろう | <input type="checkbox"/> 九州の魅力を全国に出そう | <input type="checkbox"/> もっと便利・効率の良いまちに! |
| <input type="checkbox"/> お年寄りにやさしいまち・むらをつくろう | <input type="checkbox"/> 中小都市の魅力を取り戻そう | <input type="checkbox"/> 環境にやさしい暮らしをしよう |

賞金

最優秀賞 10万円
優秀賞 3万円 佳作 1万円

応募先・お問い合わせ

住所:福岡市博多区博多駅東1-13-9 いちご博多駅東ビル8階
(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部「夢アイデア企画」係
MAIL: qsinfo@jcca.or.jp / FAX: 092-434-4342
HP: <http://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/dream>

【主催】:(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部 【後援】:国土交通省九州地方整備局、(公社)日本技術士会九州本部
【協賛】:(一社)九州地域づくり協会、(一社)建設コンサルタンツ協会

どんなまちに住んでみたいですか？ どんなまちを訪ねてみたいですか？ みなさんのまちづくりへの 夢やアイデア大募集！

夢アイデアは、自分たちの思い描く「まち・地域像」の夢やアイデアを具現化することにより、より良いまちづくりを目指すものです。まちを楽しくする、まちを元気にする、ひとが驚き、感動するあなたの夢アイデアを募集しています。これまで、800編あまりの応募をいただき、実現に向かって動いている取り組みも少なくありません。たくさんのご応募、お待ちしております！

夢アイデアの応募方法！

応募の書式・枚数は自由！

手書きのイラストや原稿、またはワープロ原稿など書式や枚数は自由です。提案の特徴やアピールしたい点をまとめたいえ、イラストや原稿末尾に住所、学年・職業、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、メールアドレスを記載し、メール・郵送・FAXにて印刷物、データ（CD-Rなどの電子媒体）をお送りください。（応募締切：2020年9月30日）

- ※郵送の場合は「提案書在中」を朱書ください。
- ※イラストや応募原稿は原則として返却しません。また、作品の公開等、建設コンサルタンツ協会九州支部が必要とする場合は自由に使用します。予めご了承ください。
- ※枚数は自由ですが、400字詰め原稿用紙10枚程度までとしてください。
- ※応募作品は未発表作品に限ります。
- ※作品中のイラストや写真などは、著作権法を遵守ください。

応募のサポートも！夢アイデアホットライン

パソコンをもっていない方、絵や文章が苦手な方・厳しい方に対し、携帯メールや夢アイデアホットラインによるサポートサービスを行います。お気軽にお申し込み・ご相談ください。

応募・お問い合わせ先

住所：〒812-0013
福岡市博多区博多駅東 1-13-9 いちご博多駅東ビル 8階
（一社）建設コンサルタンツ協会 九州支部「夢アイデア企画」係
TEL：092-434-4340 / FAX：092-434-4342
MAIL：qsinfo@jcca.or.jp

これまでの応募内容や夢アイデアの取り組みに関する情報は右記よりアクセス！



Web

Facebook の夢アイデアページでも情報発信しています！



Facebook

夢アイデアから実現したプロジェクトも！

過去 17 回の夢アイデアの募集の中には、実現に向かって動いているプロジェクトもあります。過去の応募作品は「夢アイデア」のホームページに掲載し、Facebook でも情報発信しています。夢アイデア応募の参考に、まちづくりのアイデアに、ぜひご覧ください。



【ヤギ・羊 ECO プロジェクト】



【夕陽風景時計】



【思い出 NAVI】



【子育て環境を考える会】



【九州郷づくり共助ネットワーク研究会】

応募された作品は「夢アイデア交流会 2020」で発表・表彰!!

2020年12月5日（土）に開催する夢アイデア交流会では、一次審査でノミネートされた夢アイデア応募作品の発表、審査、表彰を行います。今年は、新型コロナ禍での開催のため、会場にご参集頂くのではなく LIVE 配信での開催を予定しております。接続方法などの詳細は、後日ホームページ等でお知らせします。どうぞお楽しみに！（今後の新型コロナ禍の状況により、交流会開催内容を変更する場合があります。）

- 開催日時 2020年12月5日（土）
- 会費 無料
- 会場 オンライン
- 配信会場 TKP ガーデンシティ博多新幹線口
福岡市博多区博多駅中央街 5-14 福さ屋本社ビル

■参加申し込み・お問い合わせ

（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部「夢アイデア交流会」事務局
TEL：092-434-4340 / FAX：092-434-4342 / MAIL：qsinfo@jcca.or.jp
HP：http://www.jcca.or.jp/kyokai/kyushu/dream/index.html



【夢アイデア交流会 配信会場：TKPガーデンシティ博多新幹線口 地図】

	企業名	所在地	電話
1	アーバンテクノ(株)	810-0022 福岡市中央区薬院 3-13-23	092-526-8887
2	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング 九州支社	812-0872 福岡市博多区春町 1-6-6	092-571-5681
3	朝日開発コンサルタンツ(株)	892-0847 鹿児島市西千石町 5-1	099-226-6800
4	朝日航洋(株) 九州空情支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-1	092-437-5905
5	朝日テクノ(株)	840-0203 佐賀市大和町大字梅野 280	0952-37-9300
6	アジアエンジニアリング(株)	815-0031 福岡市南区清水 1-14-8	092-553-2800
7	(株)アジア建設コンサルタント	815-0082 福岡市南区大楠 2-8-13	092-521-5931
8	アジア航測(株) 福岡支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 4-9-2	092-441-1480
9	(株)有明測量開発社	861-4108 熊本市南区幸田 2-7-1	096-381-4000
10	E-tecsコンサルタント(株)	857-0136 佐世保市田原町 9-15	0956-41-4333
11	いであ(株) 九州支店	812-0055 福岡市東区東浜 1-5-12	092-641-7878
12	(株)ウエスコ 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-4-11	092-483-3291
13	エイコー・コンサルタンツ(株)	815-0083 福岡市南区高宮 5-10-12	092-534-8150
14	(株)エイト日本技術開発 九州支社	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80	092-686-9941
15	(株)エース 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-9-25	092-292-0821
16	(株)エスケイエンジニアリング	818-0072 筑紫野市二日市中央 1-1-50	092-925-4880
17	(株)エスジー技術コンサルタント	840-0805 佐賀市神野西 4-18-25	0952-31-7881
18	(株)エム・ケー・コンサルタント	812-0882 福岡市博多区麦野 6-14-19	092-573-2777
19	(株)オオバ 九州支店	810-0074 福岡市中央区大手門 1-1-12	092-714-7521
20	扇精光コンサルタンツ(株)	851-0134 長崎市田中町 585-4	095-839-2114
21	応用地質(株) 九州事務所	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80-3F	092-402-0840
22	(株)オービット	812-0894 福岡市博多区諸岡 1-25-41	092-589-3418
23	(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-8	092-411-6209
24	(株)片平新日本技研 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-1-1	092-433-8805
25	川崎地質(株) 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-8-34	092-292-4386
26	(株)技術開発コンサルタント	812-0036 福岡市博多区上呉服町 12-8	092-271-2518
27	基礎地盤コンサルタンツ(株) 九州支社	814-0022 福岡市早良区原 2-16-7	092-831-2511
28	九建設(株)	876-0045 佐伯市大字上岡 2270	0972-22-4126
29	(株)九州開発エンジニアリング	862-0912 熊本市東区錦ヶ丘 33-17	096-367-2133
30	九州技術開発(株)	849-0937 佐賀市鍋島 5-7-23	0952-32-1112
31	九州建設コンサルタント(株)	870-0946 大分市大字曲 936-1	097-569-9595
32	九州工営(株)	880-0015 宮崎市大工 2-117	0985-28-1122
33	(株)九州土木設計コンサルタント	880-0123 宮崎市大字芳士 3701-59	0985-39-3330
34	九和設計(株)	806-0068 北九州市八幡西区別所町 2-38	093-641-3773
35	協同エンジニアリング(株)	870-0876 大分市大字三芳 1238-1	097-545-2111
36	(株)共同技術コンサルタント	880-0824 宮崎市大島町山田ヶ窪 1926-1	0985-29-0240

	企業名	所在地	電話
37	(株)橋梁コンサルタント 西日本支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-9-11	092-461-2011
38	(株)キョウワ	879-0627 豊後高田市新地 1952-3	0978-24-3062
39	(株)協和コンサルタンツ 九州支社	810-0001 福岡市中央区天神 3-11-20	092-733-1241
40	(株)熊本建設コンサルタント	862-0917 熊本市東区榎町 16-52	096-367-4111
41	(株)ケイディエム	883-0005 日向市中堀町 3-119	0982-52-0696
42	(株)ケー・シー・エス 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4	092-472-4521
43	(株)建設環境研究所 九州支社	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 2-1	092-271-6600
44	(株)建設技術研究所 九州支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12	092-714-2211
45	(株)建設技術コンサルタンツ	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-1	099-229-2800
46	(株)建設技術センター	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 1-1	092-283-6610
47	(株)建設コンサルタントサニー	870-0952 大分市下郡北 3-18-43	097-567-8600
48	(株)晃和コンサルタント	880-0925 宮崎市大字本郷北方 3009-1	0985-51-5818
49	(株)興和測量設計	861-5501 熊本市北区改寄町 2141-1	096-272-7711
50	国際技術コンサルタント(株)	849-0203 佐賀市久保田町大字新田 3797-3	0952-51-3711
51	国際航業(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-3	092-451-5001
52	(株)国土開発コンサルタント	880-0015 宮崎市大工 3-155	0985-24-6487
53	(株)国土技術コンサルタンツ	890-0008 鹿児島市伊敷 2-14-10	099-229-0030
54	(株)コスモエンジニアリング	843-0001 武雄市朝日町大字甘久 3796	0954-23-0200
55	(株)五省コンサルタント	812-0027 福岡市博多区下川端町 9-12(福岡武田ビル)	092-281-4210
56	(株)コンサルハマダ	861-8034 熊本市東区八反田 1-1-15	096-385-1171
57	(株)サザンテック	876-0802 佐伯市日の出町 2-10	0972-23-2616
58	(株)佐藤設計コンサルタント	879-7111 豊後大野市三重町赤嶺 902	0974-22-6432
59	産業開発コンサルタント(株)	812-0044 福岡市東区筥松 3-13-9	092-621-7118
60	(株)サン建コンサルタント	879-5502 由布市挾間町向原 1298-1	097-583-4218
61	サンコーコンサルタント(株) 九州支社	810-0802 福岡市博多区中洲中島町 2-3-6F	092-271-2903
62	(株)サンコンサル	812-0888 福岡市博多区板付 2-5-4	092-582-1290
63	(株)三洋コンサルタント	800-0031 北九州市門司区高田 1-3-1	093-342-8240
64	ジーン・エスエンジニアリング(株)	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-24-9	092-481-3100
65	JR九州コンサルタンツ(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-1-14	092-413-1021
66	シビックアーツコンサルタント(株)	815-0032 福岡市南区塩原 4-5-29	092-555-4151
67	(株)島田設計コンサルタント	882-0803 延岡市大貫町 4-1333-3	0982-33-5141
68	(株)新栄設計事務所	857-0051 佐世保市浜田町 2-27	0956-25-1549
69	新日本開発工業(株) 九州事務所	812-0038 福岡市博多区祇園町 8-12-1027	092-273-2300
70	(株)新日本技術コンサルタント	890-0034 鹿児島市市田上 8-24-21	099-281-9143
71	(株)親和コンサルタント	849-0933 佐賀市卸本町 7-25	0952-32-1348
72	(株)スリーエヌ技術コンサルタント	812-0043 福岡市博多区堅粕 4-24-14	092-482-7800
73	(株)セイコー	830-0052 久留米市上津町 1874	0942-22-5850
74	精巧エンジニアリング(株)	879-5103 由布市湯布院町川南 11-3	0977-85-3344

	企業名	所在地	電話
75	(株)精工コンサルタント	847-1211 唐津市北波多岸山 611-16	0955-64-2237
76	(株)西部技建コンサルタント	886-0004 小林市細野 4158	0984-24-0511
77	(株)西部技術コンサルタント	812-0016 福岡市博多区博多駅南 4-18-12	092-437-5711
78	セントラルコンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-11-28	092-432-5385
79	(株)総合技術コンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-9-3	092-432-0555
80	(株)第一技術コンサルタント	815-0036 福岡市南区筑紫丘 2-6-11	092-554-1773
81	第一復建(株)	812-0006 福岡市博多区上牟田 1-17-9	092-412-2230
82	ダイエーコンサルタント(株)	879-0311 宇佐市大字森山 1813-5	0978-32-0584
83	(株)大進	890-0016 鹿児島市新照院町 21-7	099-239-2800
84	(株)大進コンサルタント	861-2102 熊本市東区沼山津 4-2-22	096-365-0112
85	大成ゾテック(株)	830-0038 久留米市西町 1174-10	0942-34-5622
86	大日本コンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-10-35	092-441-0433
87	大福コンサルタント(株)	890-0068 鹿児島市東郡元町 17-15	099-251-7075
88	(株)太平設計	802-0023 北九州市小倉北区下富野 1-6-21	093-551-1413
89	(株)ダイヤコンサルタント 九州支社	812-0044 福岡市博多区千代 5-3-19	092-645-1280
90	太陽技術コンサルタント(株)	882-0062 延岡市松山町 1170-1	0982-33-2107
91	大洋測量設計(株)	879-0444 宇佐市大字石田 44	0978-32-4234
92	(株)高崎総合コンサルタント	839-0809 久留米市東合川 3-7-5	0942-44-8333
93	玉野総合コンサルタント(株) 福岡支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-451-6141
94	(株)地圏総合コンサルタント 九州支店	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12(CTI 福岡ビル)	092-731-1121
95	中央開発(株) 九州支社	814-0103 福岡市城南区鳥飼 6-3-27	092-831-3111
96	(株)中央技術コンサルタンツ 西日本支社	862-0950 熊本市中央区水前寺 6-27-25	096-383-5353
97	中央コンサルタンツ(株) 福岡支店	812-0039 福岡市博多区冷泉町 2-1	092-271-2541
98	中央復建コンサルタンツ(株) 九州支社	812-0038 福岡市博多区祇園町 4-61	092-282-0441
99	(株)長大 福岡支社	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1-6F	092-737-8360
100	(株)千代田コンサルタント 九州支店	812-0018 福岡市博多区住吉 2-2-1-3F	092-262-0770
101	(株)テクノ	839-0809 久留米市東合川 3-1-21	0942-44-8700
102	(株)テクノコンサルタント	870-0108 大分市三佐 1-5-14	097-527-5111
103	東亜建設技術(株)	819-0046 福岡市西区西の丘 1-7-1	092-892-7710
104	(株)東亜コンサルタント	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-28-10	092-415-1313
105	東亜コンサルタント(株)	870-0150 大分市東原 1-20-17	097-558-4884
106	(株)東京建設コンサルタント 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-12-3	092-432-8000
107	(株)東光コンサルタンツ 九州支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-12-16-5F	092-472-3323
108	(株)トーチコンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-6-10	092-686-7300
109	東洋技術(株)	870-0856 大分市畑中 2-7-42	097-554-5330
110	東洋測量設計(株)	879-2421 津久見市大字津久見 515	0972-82-5646
111	(株)トキワ・シビル	812-0882 福岡市博多区麦野 1-22-3	092-571-3737
112	内外エンジニアリング(株) 福岡支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-20-3	092-431-2851

	企業名	所在地	電話
113	(株)西田技術開発コンサルタント	880-0911 宮崎市大字田吉 6186-5	0985-52-1227
114	西鉄シー・イー・コンサルタント(株)	815-0033 福岡市南区大橋 2-8-1	092-235-9140
115	西日本技術開発(株)	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1	092-781-2831
116	西日本建技(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-13-6	092-441-7676
117	西日本コンサルタント(株)	870-0852 大分市田中町 1-1-8	097-543-1818
118	西日本総合コンサルタント(株)	849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉 3114-3	0952-98-2141
119	(株)西日本測量設計	830-0051 久留米市南 1-14-11	0942-32-2323
120	(株)日建技術コンサルタント 九州支社	812-0024 福岡市博多区綱場町 8-23	092-263-5250
121	(株)日建コンサルタント	870-0018 大分市豊海 3-7-7	097-534-0313
122	日進コンサルタント(株)	871-0025 中津市万田 602-2	0979-24-5436
123	(株)日水コン 九州支所	812-0038 福岡市博多区祇園町 7-20	092-282-1354
124	(株)日設コンサルタント	812-0035 福岡市博多区中呉服町 1-22-2F	092-262-2377
125	日鉄鉱山コンサルタント(株) 九州本社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-23	092-451-6467
126	(株)日本インシーク 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-9-3	092-433-2771
127	日本工営(株) 福岡支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-475-7131
128	日本交通技術(株) 九州支店	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 8-20	092-433-3070
129	(株)日本港湾コンサルタント 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-13-28-7F	092-482-0345
130	日本振興(株) 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-21-2F	092-481-0264
131	日本地研(株)	812-0894 福岡市博多区諸岡 5-25-25	092-571-2764
132	(株)ニュージェック 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1-3F	092-402-0251
133	(株)萩原技研	892-0816 鹿児島市山下町 16-20	099-222-8700
134	パシフィックコンサルタンツ(株) 九州支社	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 7-21	092-418-8020
135	(株)パスコ 九州事業部	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-5-2	092-451-3522
136	(株)東九州コンサルタント	882-0861 延岡市別府町 4209-2	0982-33-1120
137	(株)久永コンサルタント	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-2	099-228-6600
138	日向測量設計(株)	883-0013 日向市新生町 1-72	0982-52-5445
139	フェニックスコンサルタント(株)	880-0121 宮崎市大字島之内字境田 6652	0985-39-2914
140	(株)福山コンサルタント	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-18	092-471-0211
141	(株)富士設計	870-0942 大分市大字羽田 930-1	097-574-5318
142	(株)復建エンジニアリング 福岡支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-12-15-2F	092-716-6262
143	復建調査設計(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-24	092-471-8324
144	(株)ホープ設計	903-0813 那覇市首里赤田町 3-5	098-911-9073
145	(株)間瀬コンサルタント 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-28	092-471-6610
146	(株)松尾設計	805-0061 北九州市八幡東区西本町 2-5-5	093-661-4970
147	松本技術コンサルタント(株)	871-0161 中津市大字上池永 1285-10	0979-23-3636
148	(株)水野建設コンサルタント	862-0933 熊本市東区小峯 2-6-26	096-365-6565
149	(株)溝田設計事務所	830-0032 久留米市東町 480-16	0942-38-6548
150	三井共同建設コンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1	092-441-3872

	企業名	所在地	電話
151	(株)宮崎産業開発	880-0022 宮崎市大橋 3-225	0985-27-7103
152	八洲開発(株)	862-0920 熊本市東区月出 1-1-52	096-384-3225
153	八千代エンジニアリング(株) 九州支店	810-0062 福岡市中央区荒戸 2-1-5	092-751-1431
154	(株)ワコー	861-4172 熊本市南区御幸笛田町 3-19-1	096-370-3333

(令和2年7月1日現在 154社)